

# マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2023 年 1月号

2023年 1月 5日  
(一財) マイクロマシンセンター  
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例経済報告 より
  - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

### 1. 全般動向

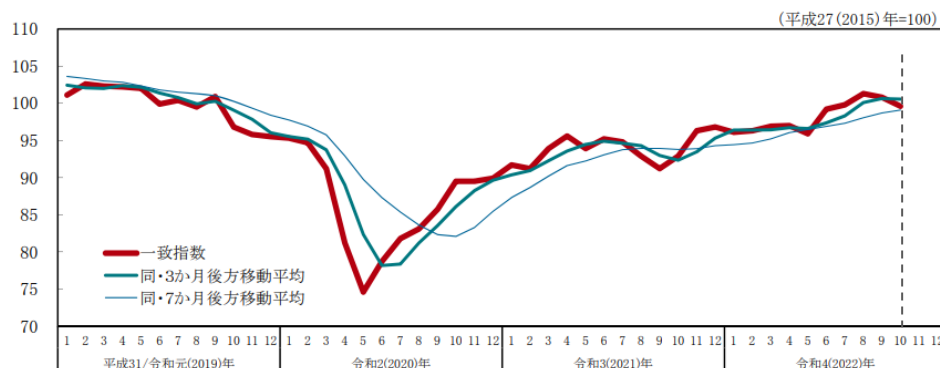
#### ■ 景気動向指数 (改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋) 令和 4 (2022) 年10月分速報からの改訂状況 (令和 4(2022)年12月22日発表) より

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202210rsummary.pdf>

- ① 10月分 CI (平成 27(2015)年 = 100) (改訂値)は、  
先行指数：99.0、一致指数：99.9、遅行指数：99.4
- ② 一致指数の基調判断  
景気動向指数 (C I 一致指数) は、改善を示している。

	10月分 C I (平成27(2015)年=100)	
	速報	改訂
先行指数	99.0	98.6
一致指数	99.9	99.6
遅行指数	99.4	99.2

一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和 4 (2022) 年10月分 (速報) (12月7日公表)」pdf：

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202210psummary.pdf>

(速報資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202210report.pdf>

## 2. 各経済指標

### ■ 月例経済報告（12月）（内閣府、令和4年12月21日 公表） （「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/12kaigi.pdf>

#### <日本経済の基調判断>

（現状）【判断維持】

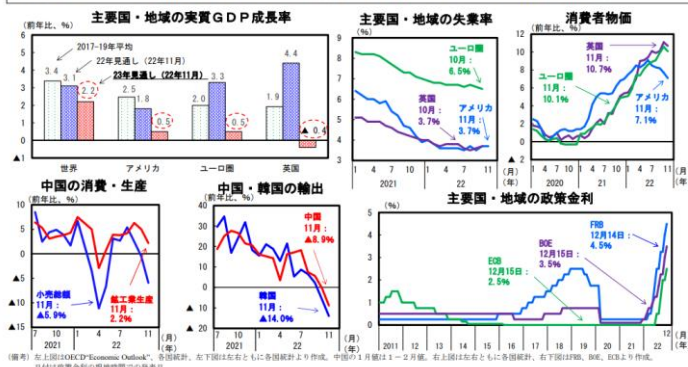
- ・ 景気は、緩やかに持ち直している。

（先行き）

- ・ 先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染動向に十分注意する必要がある。

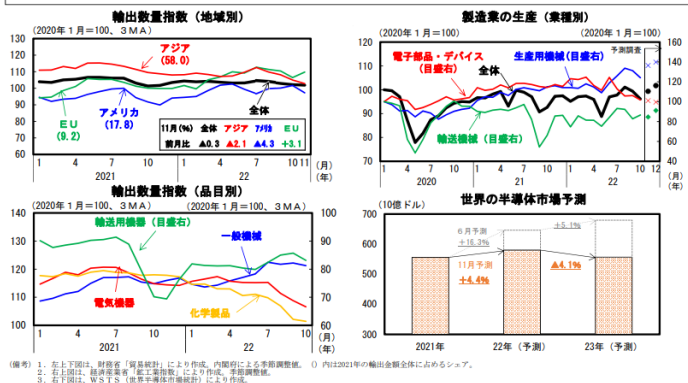
#### 今月のポイント(3) 世界経済

- ▶ 世界の景気は、中国、韓国等の一部の地域において足踏みがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている。2023年の世界経済は欧米を中心に減速が見込まれている。
- ▶ 感染再拡大の動きがみられる中国では消費や生産等の伸びが低下し、景気は持ち直しの動きに足踏み。韓国では半導体需要の鈍化の影響等から輸出は弱い動きとなり、景気は弱い動き。
- ▶ 欧米の失業率は引き続きおおむね横ばい。消費者物価の上昇テンポには各国差がみられたものの、総じて高く、物価安定に向けた金融引締めが継続。
- ▶ 今後とも金融資本市場の変動や物価上昇、供給制約等による下振れリスクの高まりに留意が必要。



#### 今月の指標(2) 輸出・生産

- ▶ 我が国の輸出は、概ね横ばい。品別に見ると、自動車等の輸送機器は持ち直し傾向である一方、半導体等の電気機器及び化学製品は減少傾向。半導体製造装置等の一般機械はこのところ横ばい。
- ▶ 製造業の生産は、持ち直しの動きに足踏み。輸出の動向と連動し、輸送機械は持ち直しの動きだが、電子部品・デバイスは世界的なPC・スマホ需要の一服等を背景にこのところ低下。生産用機械では、受注が底堅い中で納期平準化の動きもあり、このところ増勢が鈍化。
- ▶ 世界の半導体市場予測は大幅に下方修正。長期的なニーズは底堅いものの、コロナ禍での拡大は一服。



- ▶ 内閣府「月例経済報告（令和4年12月）」(pdf)：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/1221getsurei/main.pdf>
- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」TOP ページ：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>
- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

## ■ 設備投資 令和4年10月実績：機械受注統計調査報告

(令和4年12月14日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

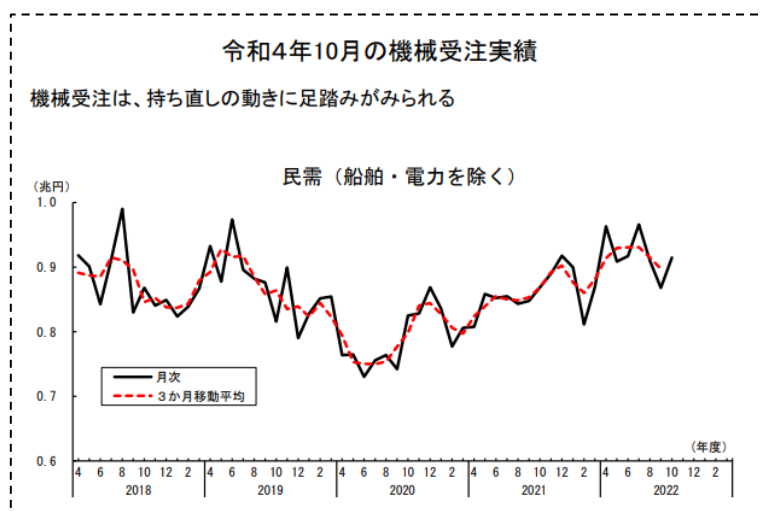
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2210juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、  
2022（令和4）年9月前月比3.3%減の後、10月は同3.3%増の2兆6,813億円となった。
2. 需要者別にみると、  
民需は前月比0.2%減の9,785億円、官公需は同2.8%増の2,693億円、  
外需は同0.2%増の1兆2,996億円、代理店は同3.6%減の1,181億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、  
2022（令和4）年9月前月比4.6%減の後、10月は同5.4%増の9,147億円となった。  
このうち、製造業は同6.4%減の4,254億円、非製造業（除く船舶・電力）は同14.0%増の4,842億円となった。

(以下図表は「令和4年10月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2210gaiyou.pdf>



対前月（期）比 （単位：％）

期・月 需要者	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2022年 (令和4年)			2022年 (令和4年)			
	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 見通し	7月 実績	8月 実績	9月 実績	10月 実績
受注総額	9.0	△9.7	21.0	△11.8	11.5	0.3	△9.5	△3.3	3.3
民需	14.1	△13.9	14.3	△2.1	2.6	6.2	△5.0	△9.0	△0.2
〃（船舶・電力を除く）	5.1	△3.6	8.1	△1.6	3.6	5.3	△5.8	△4.6	5.4
製造業	3.1	0.8	9.1	△2.0	2.9	△5.4	10.2	△8.5	△6.4
非製造業（除く船舶・電）	6.8	△8.1	7.6	△1.4	4.6	15.1	△21.4	4.4	14.0
官公需	3.6	△2.8	7.0	△12.3	30.7	△18.4	29.4	△7.6	2.8
外需	1.7	△6.6	31.4	△16.5	16.5	△2.4	△18.9	6.3	0.2
代理店	1.4	△11.3	11.7	△2.9	7.6	△4.7	4.9	2.2	△3.6
民需（船舶電力を除く） 3か月移動平均	-	-	-	-	-	0.0	△1.8	△1.9	-

（備考）1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。  
2. △印は減少を示す。  
3. 見通しは2022年9月末時点の調査。

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 2022年12月28日発表)

【2022年11月分】鉱工業指数の動向(速報)より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_202211sj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202211sj.pdf)
- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015\\_202211sj.html](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015_202211sj.html)

－ 生産は弱含み －

- ・ 今月は生産、出荷は低下、在庫、在庫率は上昇であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、12月は上昇、1月は低下を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は弱含んでいる。

・生産は、前月比-0.1%の低下。

低下業種： 汎用・業務用機械工業、生産用機械工業、無機・有機化学工業等  
 上昇業種： 化学工業(除、無機・有機化学工業・医薬品)、  
 プラスチック製品工業、電気・情報通信機械工業等

・出荷は、前月比-0.5%の低下。

低下業種： 汎用・業務用機械工業、生産用機械

11月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20221228\\_1.html](https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20221228_1.html)

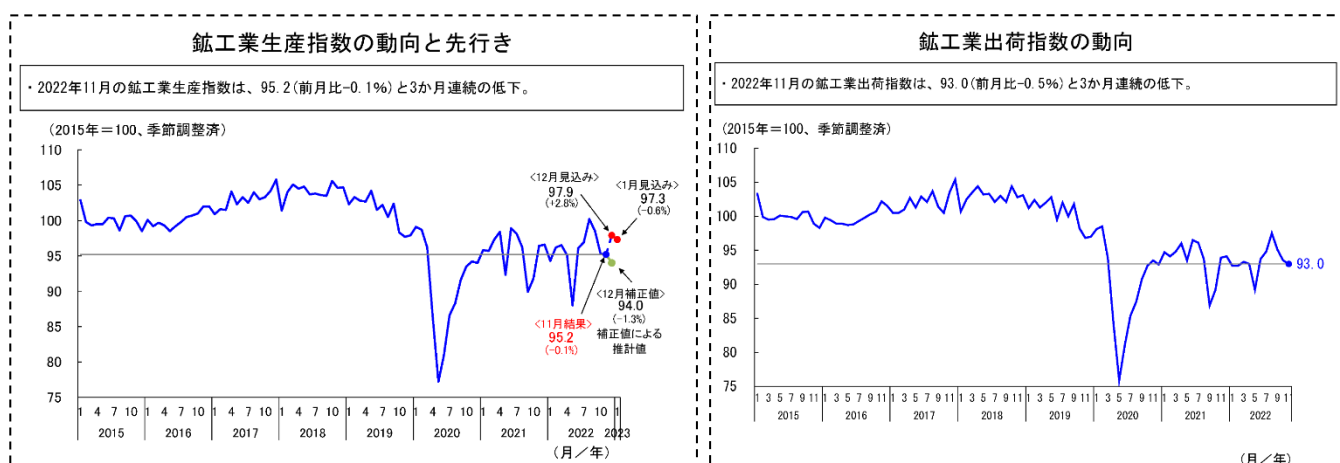
(解説) 11月の鉱工業生産は、需要の減少等を受けて、汎用・業務用機械工業や生産用機械工業、  
 電子部品・デバイス工業等

上昇業種： 自動車工業、プラスチック製品工業、  
 輸送機械工業(除、自動車工業)等

・在庫は、前月比0.3%の上昇。

上昇業種： 石油・石炭製品工業、金属製品工業、電子部品・デバイス工業等  
 低下業種： 無機・有機化学工業、電気・情報通信機械工業、自動車工業等

工業などが低下したことから、全体として前月比マイナス0.1%と、3か月連続の低下。基調判断は、「弱含み」に引き下げ。



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

鉱工業指数(最新の)「結果の概要」:

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2022年12月23日発表より抜粋)

#### 【2022年10月動向概況】

- ・ 2022年10月のグローバル出荷額は  
3,971億円、前年比112.7%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は  
受動部品 (前年比105.7% 1,806億円)、接続部品 (同122.2% 998億円)、  
変換部品 (同127.0% 701億円)、その他の電子部品 (同104.6% 465億円) となった。
- ・ 地域別出荷は  
日本 (前年比106.9% 815億円)、米州 (同140.7% 463億円)、  
欧州 (同125.6% 392億円)、中国 (同109.0% 1,392億円)、  
アジア・その他 (同107.7% 899億円) となった。

#### 【月別出荷金額】

##### 1. 月別出荷金額 (2022.12.23 発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2022年度						2022年度累計		
	8月		9月		10月		4月-10月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	3,893	109	4,217	114	3,971	112	26,463	107	
(日本)	754	108	836	106	815	106	5,268	101	
品目別	受動部品	1,806	103	1,952	110	1,806	105	12,685	105
	コンデンサ	1,265	101	1,371	108	1,258	103	8,958	105
	抵抗器	173	118	186	121	177	115	1,212	113
	トランス	47	140	47	141	48	138	316	129
	インダクタ	277	97	310	112	284	110	1,907	102
	その他	42	107	36	91	37	85	290	103
	接続部品	952	113	1,017	117	998	122	6,509	113
	スイッチ	357	116	393	121	379	121	2,426	110
	コネクタ	590	111	620	115	615	122	4,058	114
	その他	3	130	3	96	4	147	24	114
	変換部品	661	129	737	120	701	127	4,164	117
	音響部品	23	87	29	103	24	102	170	88
	センサ	207	96	216	92	211	98	1,457	94
	アクチュエータ	429	161	490	139	465	148	2,536	140
	その他の電子部品	473	104	510	112	465	104	3,103	95
	電源部品	241	141	270	153	246	141	1,525	121
	高周波部品	232	82	240	85	218	81	1,578	79

#### 【地域別出荷金額】

##### 2. 地域別出荷金額

«2022年度»

地域別出荷金額 (億円)	2022年度						2022年度累計	
	8月		9月		10月		4月-10月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,893	109	4,217	114	3,971	112	26,463	107
日本	754	108	836	106	815	106	5,268	101
米州	480	137	459	137	463	140	3,084	131
欧州	361	122	423	124	392	125	2,608	115
中国	1,414	100	1,554	111	1,392	109	9,548	101
アジア他	877	109	934	112	899	107	5,922	111

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ [https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上